

日本共産党

しまむら新一議員の ウイークダイアリー

市議会議員報告

23.7/31 №.13



一核兵器禁止条約に署名・批准すべきの世論、7割超ー

21世紀の森と広場の 「被爆クスノキ」をご存じですか？

平和大使の派遣がきっかけに

今年は広島、長崎に原子爆弾が投下されて78年目を迎えます。

松戸市では2008年、8月上旬より市内中学生を長崎の平和祈念式典に合わせて平和大使として派遣する事業を始めました。2日間の日程の中、被爆建造物・原爆資料館の見学、青少年ピースフォーラムへの参加、平和祈念式典への参列などを経験します。

青少年ピースフォーラムでは、全国の自治体や地元長崎の青少年と一緒に平和について考え、語り合います。長崎訪問終了後は、感想や記録をまとめて、学校や市の報告会などで発表します。

こうした平和大使長崎派遣事業がきっかけになり、2010年7月、長崎市から「被爆クスノキの苗木」が贈呈されました。その苗木を当時の宮間市長が21世紀の森と広場の「光と風の広場」、五本木口近くに植樹しました。いま、そのクスノキは、すくすくと成長しています。



▲被爆クスノキの由来が小さい案内板に書かれています。

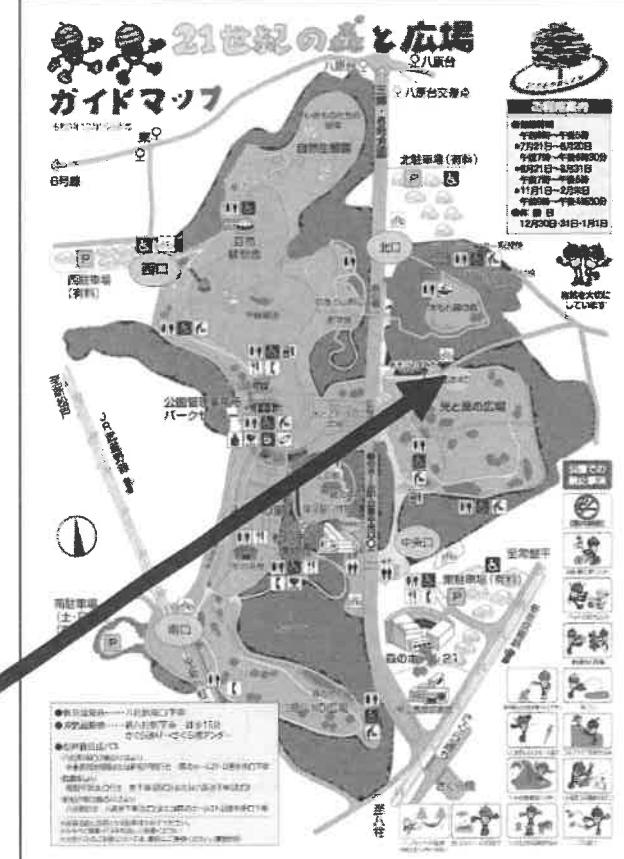
「長崎クスノキプロジェクト」へ

長崎には「被爆樹木」と呼ばれる木々があります。原爆の爆風や熱線を耐え抜き、いまも生き続ける「被爆樹木」が30本、存在します。

山王神社の境内入り口にそびえる2本のクスノキは、樹齢約500~600年、胸高幹囲がそれぞれ8mと6mで、長崎市内にあるクスノキの巨樹の一つです。共に1945年8月9日の原爆投下で主

日本共産党市議会議員
しまむら新一事務所
事務所/〒270-0021
松戸市小金原4-11-29
☎047-309-2651
FAX047-309-2652
松戸・鎌ヶ谷地区委員会
事務所/〒270-2252
松戸市千駄堀1810-2

21世紀の森と広場の全体マップ



幹の3分の1以上を失ったため、樹高は10m内外ですが、四方に張った枝は交錯して一体となり、東西40m、南北25mの大樹冠を形成しています。原爆被災に一時落葉し枯れ木同然になったにもかかわらず、2年程度の後、奇跡的に再び新芽を芽吹き、次第に樹勢を盛り返し、今日に至っています。

21世紀の森と広場に植樹されたクスノキは、この山王神社の大クスノキの苗木と考えられます。

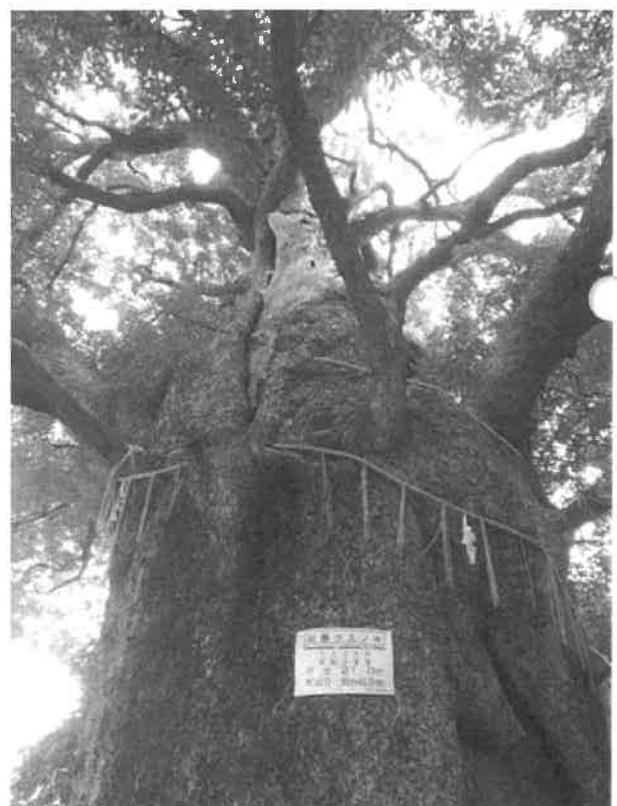
いま、長崎では「長崎クスノキプロジェクト」が始動し、「被爆樹木」の保全、保護を行っています。「被爆樹木」の存在を広く認知してもらうことで、戦争の記憶、被爆の実相を伝え、命の尊しさ、戦争への願いを次世代へつないでいくプロジェクトです。

このプロジェクトは、シンガーソングライター・俳優の福山雅治さんが被爆クスノキをモチーフにした楽曲「クスノキ」を2014年に発表したことがきっかけになりました。

この楽曲と共に巡った全国ライブ会場やオフィシャルホームページに寄せられた「クスノキ基金」を、「被爆樹木」の保全のためにと全額、長崎市に寄付しました。

それ以来、福山さん自ら総合プロデューサーなどを務め、「平和のバスデザインコンテスト」、「ピースビッグリレー動画づくり」などを意欲的にプロジェクトは取り組まれています。

詳細は「長崎クスノキプロジェクト」のホームページをご覧ください。



▲山王神社の入り口付近の大きなクスノキの1本です。福山雅治さん作詞・作曲の「クスノキ」のモチーフになった巨樹です。



松戸からも「核兵器をなくそう！」の声を

松戸コースに述べ200名以上！

国民平和大行進は、“ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！ノーモア・ヒバクシャ！” “核兵器のない世界を”と核兵器廃絶を訴えて、全国を歩く大行進です。

1958年6月、被爆地広島から東京へ約1,000kmの道のりを歩く最初の行進が行われました。このときの参加者は、毎日2人、3人と増え続け、延べ100万人になりました。以来、この半世紀以上、雨の日も風の日も毎年休まず続けられ、今ではすべての都道府県と7割を超える自治体を通過し、毎年10万人が参加する国民的行動になっています。今年も北海道から東京までの太平洋コースの平和行進が行われ、松戸コースでは流山から行進を引継ぎ、市川へ平和行進の横断幕を渡しました。市役所前の出発式、松戸駅東口アピール行動、野菊野団地引継ぎ式、常盤平西友前アピール行動に、酷暑の中、述べ200名以上が参加しました。

平和宣言している
自治体職員として

平和大行進・松戸コースでは、毎年、市に後援を申請し、市の幹部職員には実行委員会のメンバーが市庁舎の部署に訪問して、核兵器廃絶のための署名と募金を要請していました。

松戸市は恒久的な平和を願い、1985年3月4日に「世界平和都市宣言」をしました。以来、38年が経過しますが、年々市の幹部職員の署名・募金が減っているのが気になります。政府が防衛費の増額に舵を切った現状と重なります。

(市庁部局の約22名の幹部に要請)

年度	募金人数	署名人数
2017年	9名	5名
2018年	12名	4名
2019年	12名	2名
2020年	9名	2名
2021年	9名	2名
2022年	7名	1名
2023年	4名	2名

「核のない世界」次世代へ！ —広島・長崎への派遣事業実施自治体—

被爆体験を直接聴ける時間は、もうわずかです。被爆者方たちの平均年齢も85歳を迎えました。

松戸市でも、長崎で被爆し、市内に在住している大野禮子さんの語りの映像(約9分)やその被爆体験を特集した「広報まつど」(2020年7月25日号)がホームページ上にアップされています。ぜひ、ご視聴・ご購読ください。

東葛地域の自治体でも、戦争や被爆体験・実相を次世代へ、どう継承していくかを考えた事業が実施されています。

松戸市では、平和大使長崎派遣終了後に報告会を行ったり、派遣で学んだことや感じたことを冊子にまとめたりして平和大使の思いを広げる活動が続けられています。

私たちは直接、戦争を体験していませんが、想像することはできます。



自治体名	事業名	内容
松戸市	平和大使長崎派遣	市内公立私立中学生、各校1名を長崎の平和祈念式典に合わせて派遣
我孫子市	中学生広島派遣	市内中学生、各校1名を広島の平和祈念式典に合わせて派遣
流山市	平和大使	市内小学校5・6年生広島の平和祈念式典に合わせて派遣

高校生のアイデアが社会を変える！



4月に施行された「子ども基本法」の具体化です。高校生のアイデアで市の子ども政策を変えようという市の企画です。ぜひ、高校生の皆さん、応募してください！(詳細はHPで)

◆応募資格 市内在住、または在学の高校生

◆応募期間 8/1(火)～9/19(火)

◆応募部門 アイデア部門
イラスト部門

◆表彰・賞品 各部門
最優秀賞1名
優秀賞3名

担当課:子ども政策課 ☎047-704-4007